



©Rowland Kishima



指揮:大友直人(群響音楽監督)
Conductor: Naoto Otomo (Music Director)

ソプラノ:幸田浩子
Soprano: Hiroko Kouda

テノール:鈴木 准
Tenor: Jun Suzuki

バリトン:須藤慎吾
Baritone: Shingo Sudo

合唱:群馬交響楽団合唱団(合唱指揮:阿部 純)
Chorus: Gunma Symphony Orchestra Choir (Chorus Master: Yasushi Abe)

児童合唱:高崎市立京ヶ島小学校合唱部
Children's Chorus: Kyogashima Elementary School Chorus Club



群馬交響楽団 定期演奏会

第511回

511th Subscription Concert

2015年 9.27

SUN [日曜日]

会場/群馬音楽センター
開演 18:45 (開場 18:00)
渡辺和彦氏(音楽評論家)による
プレ・コンサート・トーク 18:20~

ハイドン / 交響曲 第101番
ニ長調 Hob. I: 101 「時計」
Franz Joseph Haydn / Symphony No. 101 in D Major, Hob. I: 101 "The Clock"
オルフ / カルミナ・ブラーナ
Carl Orff / Carmina Burana

チケット

S席 ¥4,600 (指定) / A席 ¥4,100 (指定)
B席 ¥3,600 (指定) / C席 ¥2,100 (自由)

プレイガイド

A 群馬音楽センター	☎ 027-322-4527
B 高崎市文化会館	☎ 027-325-0681
C 高崎シティーギャラリー	☎ 027-328-5050
D 箕郷文化会館	☎ 027-371-7211
E 新町文化ホール	☎ 0274-42-9133
F 榛名文化会館	☎ 027-374-5001
G 吉井文化会館	☎ 027-387-3211
H 高崎市倉渕支所(地域振興課)	☎ 027-378-4522
I 高崎市群馬支所(地域振興課)	☎ 027-373-2604

* 定休日[A,B...月曜日] [D,E,F,G...月・火曜日] [H,I...土・日・祝日]
※販売初日のA~Iのプレイガイド(営業時間8:30-17:15)での販売は、窓口のみです。また、電話予約については発売翌日からの受付です。ただし、発売初日に完売の際にはお取り扱いはありません。

●チケットぴあ <http://t.pia.jp>

チケットぴあ端末のあるお店にて、発券・購入いただけます。
(予約番号やPコード等の入力が必要です)

☎ 0570-02-9999

Pコード 261-662

お問い合わせ・ご予約

群馬交響楽団事務局

チケット購入
TEL.027-322-4944

お問い合わせ
TEL.027-322-4316
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1

特別料金制度

特別料金は、満70歳以上の方、身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳をお持ちの方、学生(大学生を含む)の方などに適用される割引料金です。希望される方は、チケット購入の際にお申し出ください。
※特別料金の適用は、群響事務局扱いのみとさせていただきます。

群響ホームページからもお申し込みいただけます。

<http://gunkyo.com/>

■群響定期演奏会では、視覚障害者の方に点字曲目解説、カセットテープによる曲目解説を用意させていただいております。

■「キッズわーど・ぐんま」による託児サービスを実施しております。
お申し込み・お問い合わせは TEL.027-321-2100 へどうぞ。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

Profile

指揮：大友 直人

Conductor : Naoto Otomo

現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。

在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年3月にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、以降定期的に客演し、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演、絶賛を博す。2013年にはエネスク国際音楽祭に招かれ「弦楽八重奏op.7」を演奏。「繰り返し演奏されているが、今回の演奏は最高の演奏」「日本のオーケストラ演奏が西洋音楽への新しい希望を見出した。」と評され、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。

オペラにも力を投入しており、1988年日生劇場における《魔弾の射手》でのオペラデビュー以来、オペラの指揮も高く評価されている。特に、2006年8月にプッチーニ音楽祭にて三枝成彰作曲オペラ《Jr. バタフライ》(2014年にも同音楽祭で再演)や、2013年1月には同作曲家のオペラ《KAMIKAZE-神風-》の世界初演、そして2014年1月には千住明作曲新作オペラ《滝の白糸》を指揮し、大きな話題となった。近年では教育的活動にも力を注ぎ、国際音楽セミナー「ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン」を盟友である指揮者アラン・ギルバートと毎年開催するなど、活発な活動を行っている。

2000年第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2008年第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

ソプラノ：幸田 浩子

Soprano : Hiroko Kouda

東京藝術大学を首席で卒業。同大学院、及びオペラ研修所修了後、ボローニャ、並びにウィーンで研鑽を積む。

数々の国際コンクールに上位入賞後、欧州の主要歌劇場へ次々とデビュー。カターニア・ベッリーニ大劇場「清教徒」エルヴィーラ、ローマ歌劇場「ホフマン物語」オランピア、シュトゥットガルト州立劇場「皇帝ティトの慈悲」セルヴィーリア等大舞台で重要な役を演じ、オペラの母国で豊かな経験を積む。2000年名門ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約し、「魔笛」夜の女王や「ファルスタッフ」ナンネッタ等数々の演目に出演。国内では二期会、新国立劇場等の公演で、「ナクソス島のアリアドネ」ツェルビネッタなど主役級を演じており、最近では新国立劇場「ホフマン物語」オランピア、びわ湖ホール「リゴレット」ジルダなどの好演が記憶に新しい。その他主要オーケストラとの共演や全国各地でのリサイタルなど多彩な活動を展開。メディアへの登場も多く、NHK-FM「気ままにクラシック」では4年間笑福亭笑瓶氏とともにパーソナリティを務め人気を博し、2012年からはBSフジにて音楽&トーク番組「レシビア」(毎週土曜午後6時30分)にMCとしてレギュラー出演中。CDはDENONレーベルから多数リリースしており、2015年4月自身7枚目のアルバムとなる《スマイル 母を想う》を発表。今後は7月に宮本亜門演出東京二期会「魔笛」パミーナ、8月にはびわ湖ホールにて沼尻竜典作曲「竹取物語」かぐや姫に出演予定。第14回五島記念文化賞オペラ新人賞、第20回エクソソムモービル音楽賞奨励賞受賞。二期会会員。

テノール：鈴木 准

Tenor : Jun Suzuki

北星学園大学文学部卒業。東京藝術大学卒業。同大学院博士後期課程にて音楽博士學位取得。東京藝大「メサイア」ソリストに抜擢されて以来、端正な美声が評価され、1999年よりパッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演に参加、2000年サントリーホール「マタイ 受難曲」ソリストを始めとして、スペイン公演、アメリカ公演、帰国後の記念演奏会でも多くの公演・録音に参加。他にもH.リリング指揮・パッハ「短調ミサ」、S.カンブレラン指揮・モーツァルト「レクイエム」等数多くの宗教曲を演奏。オペラでは「コジ・ファン・トゥッテ」フェランドで東京二期会デビュー。とりわけ「魔笛」タミーノは、佐渡裕指揮・兵庫芸術文化センター、上岡敏之指揮・日生劇場、T.グシュルバウアー指揮・東京二期会と立て続けに演じている。また学生時代よりブリテンをライフワークとしており、2012年にはブリテン「カーリユー・リヴァー」狂女をロンドンとオフォードの教会で演じ国際的評価を得た。さらに神奈川県民ホール「愛の白夜」ヨニス、新国立劇場「沈黙」モキチ、兵庫県芸術文化センター「セビリヤの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵のほか、2014年は、びわ湖ホール「死の都」パウル、新国立劇場「鹿鳴館」久雄に出演。2015年新国立劇場「沈黙」モキチ、東京二期会・リンツ州立劇場との共同制作「魔笛」タミーノ、神奈川県民ホール「金閣寺」柏木に出演予定。オペラのみならずパッハ「マタイ受難曲」の福音史家をはじめとした宗教曲のソリストとして活躍するほか、日本歌曲の演奏にも定評があり、松本隆現代語訳によるシューベルト「冬の旅」CDブック(学研)が発売されている。二期会会員。

バリトン：須藤 慎吾

Baritone : Shingo Sudo

国立音楽大学卒業、同大学院院修了。1999～2006年イタリアに留学。第10回オルヴィエト国際オペラコンクール第2位。第37回イタリア声楽コンクールにてシエナ大賞受賞。第42回日伊声楽コンクール第1位ならびに歌曲賞受賞。国立音楽大学大学院オペラ「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールでオペラデビュー。その後、ミラノを中心にイタリア各地の劇場で「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、「仮面舞踏会」レナート、「リゴレット」タイトルロール、「オテロ」イアーゴ、「アイダ」アモナズロ、「トスカ」スカルピア、「道化師」トニオ、「カルメン」エスカミリーヨ、「清教徒」リッカルドなど数多くのオペラに出演。藤原歌劇団には2007年ジ・インペリアルオペラ/藤原歌劇団「フィガロの結婚」のアルマヴィーヴァ伯爵を経て、2008年「ラ・トラヴィアータ」のドビニーで本公演デビュー。続いて「ラ・ボエーム」のマルチェッロに出演し成功を収め、2014年同公演でもまた、好評を博した。その他2009年「愛の妙薬」ベルコーレ、2011年「ルチア」エンリーコ、2012年「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、2013年「ラ・トラヴィアータ」ジェルモンに出演。来年1月同団「トスカ」にスカルピアで出演予定。また、日生劇場「カプレティ家とモンテッキ家」ロレンツォ、「フィデリオ」ドン・ピツァロ、オペラ彩「ナブッコ」「マクベス」各タイトルロールなどで活躍している。「第九」、「カルミナ・ブラーナ」のソロや、各種コンサートなどにも多数出演。2014年5月にはソニー・ミュージックより待望のオペリア集「アリエ」をリリース。次代を担うプリモバリトンとして更なる活躍が期待されている。藤原歌劇団団員。

近代ドイツのカール・オルフ(1892～1982)の一大人気作「カルミナ・ブラーナ」(1937)は、特にその冒頭がハリウッド映画やTVの効果音などで繰り返し使われているため、ここだけ知っている人も少なくない。テキスト(ラテン語/ドイツ語)は中世の吟遊詩人などが作った野性味溢れる、時に卑猥な詩の集まり。ソロも重要だが、ここでは特に群響合唱団と児童合唱団に期待。前半は、第2楽章が時計の刻み音を連想させる「時計」交響曲。(文:渡辺和彦)

次回公演

第512回
定期演奏会

2015
10.24 SAT

■会場/群馬音楽センター ■開演 18:45

指揮・ヴァイオリン:
オーギュスタン・デュメイ
Conductor・Violin : Augustin Dumay

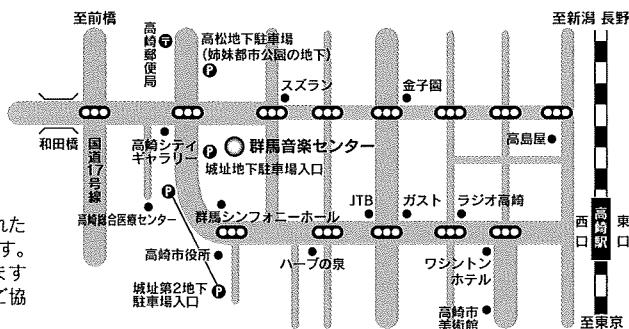
モーツァルト/ヴァイオリンと管弦楽のための
アダージョ ホル長調 KV261
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲 第3番
ト長調 KV216
ベートーヴェン/交響曲 第5番 八短調 作品67

群馬音楽センター案内

●群馬音楽センター
高崎市高松町28番地2
TEL.027-322-4527

●交通のご案内
JR高崎駅より徒歩10分
開越自動車道高崎インターより
車で20分

※①の駐車場は、演奏会にご来場された
お客様の駐車料金が約半額になります。
会場内で事前精算をしていただきます
と出庫がスムーズになりますので、ご協
力をお願いいたします。



群響のホームページをご覧ください。演奏会やリハーサルの様子など更新しております。

<http://gunkyo.com/> 群響 検索